

総合目標

目標		指標	指標の 方向	現状値 (策定時)	ベースライン値(案)	目標値(案)	目標値設定 の考え方	中間評価年 最終評価年	出典
健康寿命の延伸・自殺死亡率の減少									
(1)健康寿命の延伸									
1	健康寿命の延伸	日常生活動作が自立している期間の 平均(介護保険データに基づく)	平均寿命の 増加分を上 回る健康寿 命の増加	令和4年 健康寿命:男性 80.4年 女性 84.6年 平均寿命:男性 82.2年 女性 88.3年	令和6年 健康寿命:男性 79.7年 女性 84.8年 平均寿命:男性 81.3年 女性 88.2年	令和14年 平均寿命の増加分を上回る 健康寿命の増加	国等と同値(健康日本21)	令和9年 令和14年	A*
(2)自殺死亡率の減少									
2	自殺死亡率の減少	自殺死亡率(5か年合計) (人口10万人当たり)	減少	平成30年～令和4年合計 15.2 (参考指標) 男性 20.3 女性 10.1	令和2年～令和6年合計 15.1 (参考指標) 男性 19.6 女性 10.6	令和10年～令和14年合計 10.6	国等と同水準(自殺総合対策大 綱に準じてベースライン値から 30%減少)	令和6年～令和10年合計 令和10年～令和14年合計	B

分野別目標

目標		指標	指標の 方向	現状値 (策定時)	ベースライン値(案)	目標値(案)	目標値設定 の考え方	中間評価年 最終評価年	出典
I 個人の健康と健康状態の改善									
1 生活習慣の改善									
(1)栄養・食生活									
1	適正体重を維持している者の 増加(肥満、低栄養傾向の 高齢者の減少)	BMI18.5以上25未満(65歳以上は BMI20を超え25未満)の者の割合	増加	令和4年度 適正体重を維持している者の割合 57.0% (参考指標) 40～60歳代男性の肥満者割合 36.5% 40～60歳代女性の肥満者割合 20.2% 低栄養傾向(BMI20以下)の 高齢者の割合 20.7%	令和6年度 適正体重を維持している者の割合 56.0% (参考指標) 40～60歳代男性の肥満者割合 36.6% 40～60歳代女性の肥満者割合 20.2% 低栄養傾向(BMI20以下)の 高齢者の割合 22.0%	令和14年度 66.0%	国等と同値(健康日本21)	令和9年度 令和14年度	A
2	児童・生徒における肥満傾 向児の減少	児童・生徒における肥満傾向児の割合 (小学5年生)	減少	令和5年度 小学5年生 10.9% (参考指標) 男子 12.5% 女子 9.0%	令和7年度 小学5年生 10.3% (参考指標) 男子 11.9% 女子 8.6%	令和15年度 減少	国等と同値(健康日本21、第2次 成育医療等基本方針)	令和10年度 令和15年度	C
(2)身体活動・運動									
3	運動習慣者の増加	成人(18歳以上)の週1回以上のス ポーツ実施率	増加	令和元年度 42.2%	令和7年度 57.0%	【検討中】 (第三次船橋市生涯スポーツ推進計画 に合わせて設定)	国等と同値(第三次船橋市生涯 スポーツ推進計画)	船橋市生涯スポーツ 推進計画に合わせて設定	D
4	運動やスポーツを習慣的に 行っていない子どもの減少	1週間の総運動時間(体育授業を除 く。)が60分未満の児童の割合 (小学5年生)	減少	令和5年度 小学5年生 男子 9.1% 女子 17.0%	令和7年度 小学5年生 男子 9.2% 女子 14.7%	令和15年度 小学5年生 男子 4.6% 女子 7.4%	国等と同水準(健康日本21、第3 期スポーツ基本計画に準じて半 減) ※すこやか親子21ふなばし(第2 次)も同水準	令和10年度 令和15年度	E

目標		指標	指標の方向	現状値 (策定時)	ベースライン値(案)	目標値(案)	目標値設定 の考え方	中間評価年 最終評価年	出典
(3)休養・睡眠									
5	睡眠で休養がとれている者の増加	睡眠で休養がとれている者の割合 (40～74歳)	増加	令和4年度 76.6%	令和6年度 73.1%	令和14年度 80.0%	国等と同値(健康日本21)	令和9年度 令和14年度	F
6	睡眠時間が十分に確保できている子どもの増加	睡眠時間が9時間以上の者の割合 (小学5年生)	増加	令和5年度 小学5年生 32.4% (参考指標) 男子 30.8% 女子 34.1%	令和7年度 小学5年生 36.1% (参考指標) 男子 35.9% 女子 36.2%	令和15年度 増加	国等と同値(健康ちば21)	令和10年度 令和15年度	E
7	週労働時間60時間以上の雇用者の減少	週労働時間60時間以上の雇用者の割合	減少	令和4年 5.4%	令和4年 5.4%	令和14年 5.0%	国等と同値(健康日本21、過労死等の防止のための対策に関する大綱)	令和9年 令和14年	G
(4)飲酒・喫煙									
8	生活習慣病(NCDs)のリスクを高める量を飲酒している者の減少	1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者の割合(40～74歳)	減少	【参考】 令和4年度 24.2% (参考指標) 男性 41.7% 女性 12.0% *参考値として、旧標準的な質問票から算出したデータを記載	令和6年度 12.4% (参考指標) 男性 15.1% 女性 10.4%	令和14年度 10.0%	国等と同値(健康ちば21)	令和9年度 令和14年度	F
9	喫煙率の減少(喫煙をやめたい者がやめる)	40～74歳の者の喫煙率	減少	令和4年度 12.0% (参考指標) 男性 20.3% 女性 6.1%	令和6年度 11.9% (参考指標) 男性 20.1% 女性 6.2%	令和14年度 9.7%	国等と同水準(ベースライン値×(健康日本21の目標値÷ベースライン値÷81.1%))	令和9年度 令和14年度	F
10	妊娠中の喫煙をなくす	妊婦の喫煙率	減少	令和5年度 0.8%	令和7年度 0.6%	令和15年度 0.0%	国等と同値(健康日本21、成育医療等基本方針)	令和10年度 令和15年度	H
(5)歯・口腔									
11	歯周病を有する者の減少	40歳以上における歯周炎を有する者の割合	減少	令和5年度 55.9%	令和7年度 57.4%	令和15年度 40.0%	国等と同値(健康日本21)	令和10年度 令和15年度	I
12	よく噛んで食べることができる者の増加	50歳以上における何でも噛んで食べることができるかと回答した者の割合	増加	令和4年度 83.2%	令和6年度 87.8%	令和14年度 90.0%	国等と同値(健康日本21、歯科口腔保健の推進に関する基本的事項(第2次))	令和9年度 令和14年度	F
13	歯科健診の受診者の増加	市成人歯科健診受診率	増加	令和5年度 5.9%	令和7年度 5.5%	令和15年度 維持	推計等 (参考指標) 過去1年間に歯科受診した人の割合65.4%(令和7年度市民意識調査)	令和10年度 令和15年度	I
2 生活習慣病の発症予防・重症化予防									
(1)がん									
14	がんの年齢調整死亡率の減少	がんの75歳未満年齢調整死亡率(人口10万人当たり)	減少	令和2年 278.1 (参考指標) 男性 144.5 女性 80.0	令和2年 278.1 (参考指標) 男性 144.5 女性 80.0	令和12年 減少	国等と同値(健康日本21、第4期がん対策推進基本計画)	令和7年 令和12年	J

目標		指標	指標の方向	現状値 (策定時)	ベースライン値(案)	目標値(案)	目標値設定 の考え方	中間評価年 最終評価年	出典
15	がん検診の受診率の向上	胃がん検診受診率(50～69歳) 肺がん検診受診率(40～69歳) 大腸がん検診受診率(40～69歳) 子宮頸がん検診受診率(20～69歳) 乳がん検診受診率(40～69歳)	増加	令和4年度 胃がん :男性 2.8% :女性 6.5% 肺がん :男性 6.5% :女性 11.8% 大腸がん :男性 6.0% :女性 11.7% 子宮頸がん:女性 21.3% 乳がん :女性 22.1%	令和6年度 胃がん :男性 2.7% :女性 6.7% 肺がん :男性 6.4% :女性 12.0% 大腸がん :男性 5.7% :女性 11.6% 子宮頸がん:女性 20.5% 乳がん :女性 22.1%	令和14年度 60%	国等と同値(健康日本21、第4期 がん対策推進基本計画)	令和9年度 令和14年度	K
16	がん精密検査受診率の向上	がん精密検査受診率	増加	令和3年度 胃がん :91.0% 肺がん :73.1% 大腸がん :66.2% 子宮頸がん:39.0% 乳がん :88.5%	令和5年度 胃がん :92.4% 肺がん :81.3% 大腸がん :71.4% 子宮頸がん:40.2% 乳がん :92.0%	令和13年度 90%	国等と同値(健康日本21、第4期 がん対策推進基本計画)	令和8年度 令和13年度	K
(2)循環器病									
17	脳血管疾患・心疾患の年齢 調整死亡率の減少	脳血管疾患・心疾患の年齢調整死亡 率(人口10万人当たり)	減少	令和2年 男性 245.0 (脳血管疾患86.8+心疾患158.2) 女性 151.6 (脳血管疾患45.0+心疾患106.6)	令和2年 男性 245.0 (脳血管疾患86.8+心疾患158.2) 女性 151.6 (脳血管疾患45.0+心疾患106.6)	令和12年 減少	国等と同値(健康日本21、循環 器対策推進基本計画)	令和7年 令和12年	J
18	高血圧の改善	収縮期血圧の平均値(40歳以上、内 服加療中の者を含む。)	減少	令和4年度 131.3mmHg (参考指標) 男性 131.3mmHg 女性 131.2mmHg	令和6年度 130.8mmHg (参考指標) 男性 130.6mmHg 女性 131.0mmHg	令和14年度 125.8mmHg	国等と同水準(健康日本21に準 じて5mmHg低下)	令和9年度 令和14年度	A
19	脂質(LDLコレステロール) 高値の者の減少	LDLコレステロール 160mg/dl以上 の者の割合(40歳以上、内服加療中 の者を含む。)	減少	令和4年度 9.1% (参考指標) 男性 6.6% 女性 10.9%	令和6年度 8.6% (参考指標) 男性 6.1% 女性 10.4%	令和14年度 6.5%	国等と同水準(健康日本21に準 じて25%減少)	令和9年度 令和14年度	A
20	メタボリックシンドロームの 該当者及び予備群の減少	メタボリックシンドロームの該当者及 び予備群の割合	減少	令和4年度 30.7%	令和6年度 31.3%	令和14年度 20.8%	国等と同値(船橋市国民健康保 険 第3期保健事業実施計画 第 4期特定健康診査等実施計画)	令和9年度 令和14年度	F
21	特定健康診査の実施率の向 上	特定健康診査の実施率	増加	令和4年度 41.9%	令和6年度 確認中 【参考】令和5年度 41.4%	令和14年度 60%	国等と同値(船橋市国民健康保 険 第3期保健事業実施計画 第 4期特定健康診査等実施計画)	令和9年度 令和14年度	L
22	特定保健指導の実施率の向 上	特定保健指導の実施率	増加	令和4年度 30.2%	令和6年度 確認中 【参考】令和5年度 29.0%	令和14年度 60%	国等と同値(船橋市国民健康保 険 第3期保健事業実施計画 第 4期特定健康診査等実施計画)	令和9年度 令和14年度	L
(3)糖尿病									
23	血糖コントロール不良者の 減少	HbA1c8.0%以上の者の割合	減少	令和4年度 1.2%	令和6年度 1.2%	令和14年度 1.0%	国等と同値(健康日本21)	令和9年度 令和14年度	A
(4)CKD(慢性腎臓病)									
24	CKD保健指導対象者率の 減少(国保)	CKD保健指導対象者率(国保) (45≤eGFR<60(ml/分/1.73m ²) かつ尿蛋白(－)及び45≤eGFR (ml/分/1.73m ²)かつ尿蛋白(±))	減少	令和4年度 男性 28.1% 女性 25.4%	令和6年度 男性 30.2% 女性 28.4%	令和14年度 減少	国等と同値(健康ちば21)	令和9年度 令和14年度	F

目標		指標	指標の方向	現状値 (策定時)	ベースライン値(案)	目標値(案)	目標値設定 の考え方	中間評価年 最終評価年	出典
(5)COPD(慢性閉塞性肺疾患)									
25	COPDの死亡率の減少	COPDの死亡率(人口10万人当たり)	減少	令和5年 11.2 (参考指標) 男性 17.0 女性 5.4	令和7年 確認中 【参考】令和6年度 10.9	令和15年 10.0	国等と同値(健康日本21)	令和11年 令和15年	J
(6)生活機能の維持・向上									
26	ロコモティブシンドロームの減少	足腰に痛みのある高齢者の人数(千人当たり)(65歳以上)	減少	令和4年度 502人 (千人当たり)	令和7年度 500人 (千人当たり)	令和13年度 450人 (千人当たり)	国等と同水準(健康日本21に準じて10%減少)	令和10年度 令和13年度	M
27	骨粗鬆症検診受診率の向上	骨粗鬆症検診受診率(40～70歳の5歳刻み女性)	増加	—	令和7年度 20.1%	令和15年度 増加	推計等(健康日本21の目標値15%に到達 ※R7年度開始)	令和10年度 令和15年度	K
Ⅱ 社会環境の質の向上									
(1)社会とのつながり・こころの健康の維持及び向上									
(2)自然に健康になれる環境づくり									
(3)誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備									
28	自分にはよいところがあると思う児童・生徒の増加	自分にはよいところがあると思う児童・生徒の割合(小学6年生、中学3年生)	増加	令和5年度 小学6年生 86.1% 中学3年生 77.3%	令和7年度 小学6年生 88.3% 中学3年生 85.9%	令和15年度 増加	国等と同値(健康ちば21)	令和10年度 令和15年度	N
29	社会活動を行っている高齢者の増加	いずれかの社会活動(就労を含む。)を行っている高齢者の割合	増加	令和4年度 57.7%	令和7年度 59.9%	令和13年度 70.0%	国等と同水準(健康日本21に準じて10%ポイント増加)	令和10年度 令和13年度	M
30	心のサポーター数の増加	心のサポーター数(累計)	増加	令和5年度 51人	令和7年度 257人	令和15年度 4,000人	国等と同水準(市総合計画実施計画に準じてベースライン値+468人/年×8年=4,001人)	令和10年度 令和15年度	O
31	ゲートキーパー数の増加	ゲートキーパー数(非対面型の市職員研修除く)(累計)	増加	令和5年度 381人	令和7年度 422人	令和15年度 3,700人	推計等(ベースライン値+400人/年×8年=3,622人)	令和10年度 令和15年度	P
32	健康経営の推進	保険者とともに健康経営に取り組む企業数(健康経営優良法人認定数)	増加	令和6年度 22社	令和7年度 23社	令和15年度 31社	推計等(ベースライン値+1社/年×8年=31)	令和10年度 令和15年度	Q
33	利用者に応じた食事提供をしている特定給食施設の増加	管理栄養士・栄養士を配置している施設(病院、介護老人保健施設、介護医療院を除く。)の割合	増加	令和5年度 83.8%	令和7年度 85.0%	令和15年度 86.9%	推計等(ベースライン値+1.9%※過年度の伸び幅)	令和10年度 令和15年度	R
Ⅲ ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり									
(1)子ども									
【再掲】 4	【再掲】運動やスポーツを習慣的に行っていない子どもの減少	1週間の総運動時間(体育授業を除く。)が60分未満の児童の割合(小学5年生)	減少	令和5年度 小学5年生 男子 9.1% 女子 17.0%	令和7年度 小学5年生 男子 9.2% 女子 14.7%	令和15年度 小学5年生 男子 4.6% 女子 7.4%	国等と同水準(第3期スポーツ基本計画に準じて半減) ※健やか親子21ふなばし(第2次)も同水準	令和10年度 令和15年度	E
【再掲】 2	【再掲】児童・生徒における肥満傾向児の減少	児童・生徒における肥満傾向児の割合(小学5年生)	減少	令和5年度 小学5年生 10.9% (参考指標) 男子 12.5% 女子 9.0%	令和7年度 小学5年生 10.3% (参考指標) 男子 11.9% 女子 8.6%	令和15年度 減少	国等と同値(健康日本21、第2次 成育医療等基本方針)	令和10年度 令和15年度	C
【再掲】 6	【再掲】睡眠時間が十分に確保できている子どもの増加	睡眠時間が9時間以上の者の割合(小学5年生)	増加	令和5年度 小学5年生 32.4% (参考指標) 男子 30.8% 女子 34.1%	令和7年度 小学5年生 36.1% (参考指標) 男子 35.9% 女子 36.2%	令和15年度 増加	国等と同値(健康ちば21)	令和10年度 令和15年度	E

目標		指標	指標の方向	現状値 (策定時)	ベースライン値(案)	目標値(案)	目標値設定 の考え方	中間評価年 最終評価年	出典
	【再掲】28	【再掲】自分にはよいところがあると思う児童・生徒の増加	増加	令和5年度 小学6年生 86.1% 中学3年生 77.3%	令和7年度 小学6年生 88.3% 中学3年生 85.9%	令和15年度 増加	国等と同値(健康ちば21)	令和10年度 令和15年度	N
	(2)高齢者								
	【再掲】1	【再掲】低栄養傾向の高齢者の減少(適正体重を維持している者の増加の一部を再掲)	減少	令和4年度 20.7%	令和6年度 22.0%	令和14年度 13.0%	国等と同値(健康ちば21)	令和9年度 令和14年度	A
	【再掲】26	【再掲】ロコモティブシンドロームの減少	減少	令和4年度 502人 (千人当たり)	令和7年度 500人 (千人当たり)	令和13年度 450人 (千人当たり)	国等と同水準(健康日本21に準じて10%減少)	令和10年度 令和13年度	M
	【再掲】29	【再掲】社会活動を行っている高齢者の増加	増加	令和4年度 57.7%	令和7年度 59.9%	令和13年度 70.0%	国等と同水準(健康日本21に準じて10%ポイント増加)	令和10年度 令和13年度	M
	(3)女性								
	【再掲】27	【再掲】骨粗鬆症検診受診率の向上	増加	—	令和7年度 20.1%	令和15年度 増加	推計等(健康日本21の目標値15%に到達 ※R7年度開始)	令和10年度 令和15年度	K
	【再掲】8	【再掲】生活習慣病(NCDs)のリスクを高める量を飲酒している女性の減少(生活習慣病(NCDs)のリスクを高める量を飲酒している者の減少の一部を再掲)	減少	【参考】 令和4年度 女性 12.0% *参考値として、旧標準的な質問票から算出したデータを記載	令和6年度 女性 10.4%	令和14年度 女性 6.4%	国等と同値(健康ちば21)	令和9年度 令和14年度	F
	【再掲】10	【再掲】妊娠中の喫煙をなくす	減少	令和5年度 0.8%	令和7年度 0.6%	令和15年度 0.0%	国等と同値(健康日本21、成育医療等基本方針)	令和10年度 令和15年度	H

指標出典一覧

A	国保データベース(KDB)
B	千葉県「千葉県における自殺の統計」
C	船橋市児童生徒定期健康診断結果
D	船橋市生涯スポーツ推進計画
E	スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」
F	船橋市国民健康保険特定健康診査実績
G	総務省「就業構造基本調査」
H	船橋市4か月児健康相談問診票
I	千葉県「市町村歯科健康診査(検診)実績報告書」
J	厚生労働省「人口動態調査」
K	厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」
L	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」
M	船橋市高齢者生活実態調査
N	文部科学省「全国学力・学習状況調査」
O	船橋市保健総務課実績
P	船橋市地域保健課実績
Q	経済産業省「健康経営優良法人認定制度」
R	厚生労働省「衛生行政報告例」

A*で用いているKDBシステム出力帳票「S21_001-地域の全体像の把握(X年度累計)」の統計情報の調査期間は、(X－2)年1月～12月。